

回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕に係る掲示事項

I.退棟患者数 (2026年1月～3月)

● 直近3カ月間の退棟患者数： 78 名

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		患者数
退棟患者の構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	22 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は 2肢以上の多発骨折の発症後 又は 手術後の状態	40 名
	外科手術 又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後 又は発症後の状態	13 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 又は 膝関節の神経、筋 又は 靭帯損傷後の状態	3 名
	股関節 又は 膝関節の置換術後の状態	0 名

II.実績指数（前月までの6カ月間）

● 実績指数の計算対象とした患者数： 185 名

● 上記の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和： 6338 点

● 上記の患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和： 139.7

● 実績指数： 45.36

$$\text{実績指数} = \frac{\text{FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時 (対象患者の合計)}}{\text{在棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限 (対象患者の合計)}}$$



2026年4月1日

イムス札幌リハビリテーション病院